

令和6年5月8日

プレイスメイキング等の実証実験提案書

活動名	神保町ワクワク魅力新発見
提案者	千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム (千代田区キャンパスコンソ) ※大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学
提案者の所在地	富士見2-17-1 (法政大学)
開催時期： 令和6年9月～11月（予定） ※この期間のうちの1日又は複数日を想定	
活動場所： ①特別区道千第386号 ※下記②と小学館ビル（一ツ橋2-3-1）との間 ②共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス本館1階屋外	
目的： 大学と隣接した場所で複数のイベントを実施することで、近隣地域の方々に大学を身近に感じてもらうとともに、大学の持つ知や若者目線を取り入れた大学ならではの滞在空間を創ります。 学生の目線・アイデア、地域（千代田区・神保町）の新たな魅力発見をコンセプトとするイベントを6大学・2短期大学が参加する千代田区キャンパスコンソが実施します。これにより、神保町を中心とした地域の人々や神保町近辺で働く人達が、立ち止まって楽しく過ごせる場所、新たな地域の魅力を発見できる場所の創設を目指します。 また、この取り組みには千代田区キャンパスコンソの大学生・短期大学生が参画する仕組みを設けます。多くの学生が千代田区・神保町の魅力を知り、また課題を理解し解決する学びの機会につなげます。	
活動内容： 人々が立ち止まって新たな街の魅力に気づく場所づくりに資するイベントとして、例えば以下のような内容を行う。 ※構想・検討中のものを含みます。今後新たに追加する可能性があります。具体的な内容は5月以降に検討し確定させます。	
＜イベント案＞ ①千代田区キャンパスコンソの大学教員・大学卒業生などによる講演 大学に関わる講師による青空講座 テーマ例「神保町の魅力」「神保町の食」…	

②大学キャラクターによるアトラクション（例えば、キャラ相撲、ミニ運動会）

大学キャラクターを通してそれぞれの大学のブランディングの一面を知ってもらう。

参考例：<https://www.youtube.com/watch?v=hecWHyKGVyw>

③環境学習ワークショップ「食のmottainaiビンゴゲーム」

食の廃棄削減のための取り組みを、ビンゴゲームを通して考える。

参考：<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/collaboration/news/detail.html?id=4316>

④福井のめがね端材で作る、キーホルダー作りワークショップ

千代田区が連携協定を締結する福井県の地域の特色や資源を生かしたワークショップを通して千代田区と地域のつながりを考える。

参考：<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/collaboration/news/detail.html?id=4429>

⑤地方の名産品紹介・販売コーナー

各大学や千代田区が関係する地域の名産品を紹介・販売するコーナーを設ける。これを通して、大学・千代田区と地域のつながりを考える。

⑥インフィオラータ（花絵）

「区/神保町の魅力を来街者にPRする花絵の作成」などを課題に設定し学生にデザインを検討してもらう。また、イベントに先立ち、花絵の歴史やSDGsとの関係等を学ぶ基礎講座、花むしり体験、花絵製作体験なども組み合わせたワークショップ形式で行う（体験型ワークショップ）。

⑦学生企画

区の「ウォーカブルなまちづくり」や大学連携・地域連携に関心を持つ大学生・短期大学生を募り、イベントの企画から運営まで「学生企画」として実施する。

各大学サークルによる催し物コーナー（マジック、音楽、囲碁・将棋、チェス、カードゲーム、ボードゲーム、トランプ、落語、ダンス …）なども

【開催までのスケジュールを記載してください。】

5月以降 イベント内容検討 ※9月開始まで

6月 参加学生募集・学生と企画検討 ※8月末まで

8月 実施広報開始

9月 イベント実施（～11月）

【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題とそれに対する解決等を踏まえて）】

区内にキャンパスを有する大学・短期大学として、区内のキャンパスで学ぶ学生に、区（地域）の魅力・課題を理解してもらうことは大学の課題の1つです。地域課題（ウォークアブルなまちづくりデザインの実現）に関わる取組みに学生が参画できるようにして、学生の学び（地域課題解決）の機会とします。圧倒的多数の学生は区外から通学しています。区内に滞留・回遊させる取組みを自分ごととして、また、本人目線で考えることが期待できます。

千代田区キャンパスコンソの6大学・2短期大学が連携して実施することで、それぞれが有する多様なリソースを活用し、より効果的な取組みとすること、また、大学だけでなく、大学と企業がそれぞれのリソースを用いて協働して、課題解決するアプローチも取り入れることを図ります。

これらを通して、ウォークアブルなまちづくりデザインの実現に寄与することを目指します。

【今回提案する活動の実施体制や収支予定について記載してください。また、今回の実証実験後の活動について検討されている場合はそちらも記載してください。】

実施体制

千代田区キャンパスコンソ（6大学・2短期大学）が主体となります。

これに個々のイベントごとに企業等の協力を得て実施します（予定）。

収支予定

支出	500千円	イベント企画運営経費
		※消耗品・備品購入、運搬費、講演者謝礼、チラシ印刷費 他
収入	500千円	千代田区助成金（希望）

実証実験後の活動

千代田区キャンパスコンソでは、区内回遊や区内の魅力発信に関する学生参加企画を実施しています。今回の取組みに参加・関与した地域の方や学生を対象としたアンケートなどを行い、その結果を今後の取組みの際の参考にします。

<学生参加企画の一例>

- ・千代田さくら祭り2024公式ガイドMAP製作プロジェクト

※千代田観光まちづくり実行委員会との連携事業

<https://chiyoda-consortium.jp/news/20230704>

<https://chiyoda-consortium.jp/report/20240408>

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

- ① 区内の6大学・2短期大学及びその学生が参画します。
- ② 大学の特色や学生目線を取り入れた魅力ある滞留空間を創ります。
- ③ 学生が区内の魅力や課題を考え、自ら実践的に学ぶことで、学生の成長につなげる機会にします。

【区からサポートしてほしい事項を記載してください。】

- ①後援名義、道路占用許可、道路使用許可の支援
- ②活動費用の支援（500千円）
- ③広報の支援（広報ちよだ掲載、町内看板利用など）

※上記に加え、企画書などの補足資料を添付していただいても構いません。



プレイスメイキング等の実証実験 企画書(補足資料)

2024年5月8日

千代田区キャンパスコンソ

(千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム)

<https://chiyoda-consortium.jp/>

「神保町ワクワク魅力新発見」

- ✓ 神保町の区道と共立女子大学を拠点に
- ✓ 魅力発信イベントを複数開催
- ✓ 区内在住・在勤・在学する方などの滞留空間に
- ✓ 大学生がイベントの企画・運営に参画

人々が立ち止まって新たな街の魅力に気づく場所づくり
ウォーカブルなまちづくりをリテンションスペースから

<イベント開催時期>

9月～11月

※1日又は複数日（具体的な内容は今後検討）

<場所>

①神保町の区道（特別区道千第386号）

※共立女子大学本館と小学館ビルの間

②共立女子大学本館1階屋外スペース



① 千代田区キャンパスコンソの 大学教員・卒業生などによる講演

「神保町の魅力」「神保町の食」…

② 大学キャラクターによるアトラクション (キャラ相撲、ミニ運動会…)

参考 <https://www.youtube.com/watch?v=hecWHyKGVyw>

③ 環境学習ワークショップ 「食のmottainaiビンゴゲーム」

④ 福井のめがね端材で作る、 キーホルダー作りワークショップ

⑤ 地方の名産品紹介・販売コーナー

⑥ インフィオラータ(花絵)

⑦ 学生企画

「ウォーカブルなまちづくり」や大学連携・地域連携に関心を持つ千代田区キャンパスコンソの学生を募り、イベントの企画から運営まで「学生企画」として実施

各大学サークルによる催し物コーナーなども

<イベント開催スケジュール(イメージ)>

2024年9月

日	月	火	水	木	金	土
					イベント A	
			イベント B			

2024年10月

日	月	火	水	木	金	土
				イベント C	イベント C	
					イベント D	

支出 500千円

イベント企画運営経費

- ・消耗品・備品購入
- ・講演者謝礼
- ・運搬費
- ・チラシ印刷費 他

収入 500千円

千代田区助成金(上限500千円)

5月～ イベント内容検討 ※9月開始まで

6月 参加学生募集・企画検討開始 ※8月末まで

8月 実施広報開始

9月 イベント実施(～11月)

11月 活動内容検証

12月 活動報告書等提出(千代田区へ)

- ① 区内の6大学・2短期大学及びその学生が参画します。
- ② 大学の特色や学生目線を取り入れた魅力ある滞留空間を創ります。
- ③ 学生が区内の魅力や課題を考え、自ら実践的に学ぶことで、学生の成長につなげる機会にします。